

令和4年度 1人1台端末の活用による実践事例

学 校 名		岡山県立倉敷中央高等学校		
実践者等		藤田 昌子	実践日	令和4年5月 10 日
実践場面 (教科・科目(単元名)、学校行事等)		看護・人体の腔所と器官の位置関係		
対象生徒(学年等)		看護科1年		
育成を目指す資質・能力		☒ 知識・技能 ☒ 思考力・判断力・表現力等 ☐ 学びに向かう力・人間性等		
分類	授 業 中	☐ クラウドやアプリの活用 ☐ デジタルデータの保存 ☒ 思考やデータの可視化		
		☐ データの共有や共同編集 ☐ 対話を充実させる活用 ☐ 思考を促す活用		
		☐ 表現を充実させる活用 ☐ 課題のやり取りと評価の支援 ☐ 効率化や省力化		
		☐ その他()		
	家庭学習	☒ 振り返り ☐ 探究 ☐ 反転学習 ☐ 補習・定着		
実践の内容				
【授業】 (1) 臓器の動きを動画で見せ気づかせる ・心臓と肺の動きに注目させる。 - 臓器どうしが近くで動き合うことで考えられるリスクを jamboard に入力させる。 (jamboard には、心臓と肺の解剖図を貼り付けておく) (2) 発展的に考えさせる ・他にどんな腔所が人体の中には存在しているのかを臓器を動画で見せ、気づきを入力させる。 ・ペアワークで取り組ませる。 (3) まとめをして、次時までの家庭学習での課題を伝える ・家庭学習として forms で問題を解いて提出する。(期限は、本日21時) ・ノートに腔所を解剖図に書き込んでくる。 ・腔所に体液が貯留するとどんな変化が人体におこるかを考えてくる。(次回の授業で発表) (4) 本時の振り返り ・ルーブリックで振り返りをさせる。				
【本時と家庭学習との連動】 (本時前) 人体の中にある臓器やその位置関係をノートに図を描きイメージをさせる。 (本時後) 本時前に描いた図に腔所とその名称を書き込ませ位置関係の振り返りをさせる。 forms で知識理解の確認をさせる。				